

ドン・ボスコの風

Joyful Communication!

BOLLETTINO
SALESIANO

Luglio 2011

No. **7**

特集 **ドン・ボスコの 教え子** たち インタビュー

聖ヨハネ・ボスコ
聖遺物日本巡礼
密着レポート

Ciao!
サレジオ家族
探訪

連載
時を超えて紡ぐ
ショートストーリー
人間さん。

Essay
「ほんとうのドン・ボスコ」を求めて
～ドン・ボスコ研究の魅力とススメ～

News
ドン・ボスコ海外青年
ボランティアグループ
20周年

Info
被災地支援の報告

読者プレゼント

言っときますけど…
本のひととき

世界のサレジオ家族ニュース
ドン・ボスコ生誕200周年に向けて
ドン・ボスコゆかりの地を巡る

ドン・ボスコ 生誕200周年に向けて

アルド・チブリアニ
サレジオ会日本管区長

2015年8月16日、私たちはドン・ボスコ生誕200周年を祝います。ドン・ボスコがこの世に誕生し、若者の父と呼ばれる司祭となったことによって、どれほど多くの若者が時代の闇の中で希望を見だし、救われたことでしょうか。ドン・ボスコが生きた時代と同じように、現代の私たちも、戦争や生きることへの不安のうちにあります。

今年の2月2日から18日まで、ドン・ボスコの聖遺物が日本を巡礼しました。この巡礼からほぼ1か月後の3月11日、私たちの国は東日本大震災によって地震、津波の壊滅的被害を受け、放射能汚染にさらされています。特に子どもたちへの影響を考えると「神さま、なぜ?」と言いたくなります。あまりに大きな負の遺産に、子どもたちや青年たちをどのように力づけていったらいいのかと考えます。ドン・ボスコが日本に来てくださ

たのは、「ドン・ボスコ、助けて」と言えば、必ずそばにいるからと約束してくれるためだったと思えてなりません。

サレジオ会のチャーベス総長は、今年の1月31日、ドン・ボスコの祝日に書簡を出し、200周年を迎えるために3年間をかけて次のような準備をするよう呼びかけています。

今年2011年の8月16日からの準備1年目は、「ドン・ボスコの生涯を振り返る」年です。ドン・ボスコの今日にも通じる生き方やカリスマを知るようにしましょう。

2012年8月16日からの準備2年目は、「ドン・ボスコの教育」について深め、現代におけるドン・ボスコの「共にいる」予防教育を理解するように努めます。

2013年8月16日からの準備3年目は、「ドン・ボスコの霊性を理解し、生きる」

年です。ドン・ボスコの生き方の根底にある、活動しながらも常に神と対話しているという霊性について深めます。

そして、2014年8月16日から2015年8月16日にかけて、ドン・ボスコ生誕200周年が祝われます。テーマは、「若者と共にある、若者のためのドン・ボスコの使命」です。

3年間の準備と生誕200周年の祝いを通して、「われに魂を与え、ほかは取り去りたまえ」"Da mihi animas, cetera tolle"というモットーに表されるドン・ボスコの精神を体得しましょう。神様のご計画の中で、一人ひとりがサレジオ家族の使命を最善の形で果たせるように心から願います。

2011年6月24日
ドン・ボスコの霊名の祝日に

ドン・ボスコ
「青少年の友」と呼ばれ、見捨てられた若者たちのために生涯を捧げた神父。1815年イタリア生まれ、名前はヨハネ（イタリア語でジョヴァンニ。ドン・ボスコは「ボスコ神父」の意味）。青少年教育に献身するサレジオ会を創立。1888年帰天。

サレジオ家族
ドン・ボスコの精神を受け継ぐ修道者と信徒・協力者によるグループ。世界130以上の国で、28団体、40万人以上のメンバーが、学校、教会、社会生活のさまざまな場面で青少年のために奉仕している。サレジオファミリーとも呼ばれる。



サレジオ会本部にて総長チャーベス師(左)とともに

INDEX もくじ

- 3 Message ● ドン・ボスコ生誕200周年に向けて
- 4 Essay ● 「ほんとうのドン・ボスコ」を求めて ～ドン・ボスコ研究の魅力とススメ～

5 特集 ● インタビュー ● ドン・ボスコの「教え子」たち

 牛山 大
from サレジオ学院

 森本 千絵
from 目黒星美学園

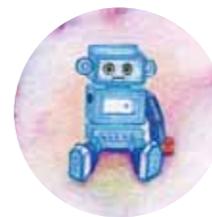
 羽深 藍
from サレジオ高専

- 12 サレジアン旬な一言 ● 言っときますけど…
- 13 Book Review ● 本のひととき
- 14 ドン・ボスコゆかりの地を巡る ● コッレ・ドン・ボスコ
- 15 世界のサレジオ家族ニュース

18 聖ヨハネ・ボスコ 聖遺物日本巡礼密着レポート

22 時を超えて紡ぐ ショートストーリー ● 人間さん。

文：ノゾエ 征爾 脚本家・演出家・俳優
絵：おむら まりこ イラストレーター・絵本画家



24 Ciao! サレジオ家族探訪 ● サレジオ小学校 / イエスのカリタス 修道女会 白河修道院

- 28 News ● ドン・ボスコ海外青年ボランティアグループ 20周年
- 30 Info ● 被災地支援の報告
- 31 読者プレゼント



表紙の人(上から)
森本 千絵さん
牛山 大さん
羽深 藍さん

ドン・ボスコの風について

「ドン・ボスコの風」は、喜びを共にし、サレジオ家族の原点を見つめ、絆を深め、社会・世界に羽ばたいて、その実りを分かち合うためのコミュニケーション誌を目指しています。「サレジオ精神」を多くの方々と共有し、新しいつながりに広げていくきっかけとしてご活用いただければ幸いです。皆様からの情報提供とご支援をよろしくお願いいたします。

「ほんとうのドン・ボスコ」を求めて

～ドン・ボスコ研究の魅力とススメ～

文 ● 浦田慎二郎

彼の「したこと・言ったこと」をなぞるだけになったり、自分の勝手な思い込みや願いをドン・ボスコの考えに仕立てて終わってしまう危険性があります。

実はもう一つ、ずっと単純な理由がありました。それは「ドン・ボスコがもし今自分のすぐそばにいたとしたら、ほんとうに心から尊敬できる人間だったのだろうか」という実に失礼な、しかし自分の中にずっとあった根本的な疑問への答えを探すためです。結局私たちの周りにある様々な問題は単純な人間性の問題がほとんどだと思います。いくら他人の目に「すごいこと」をしても身近にいて他

人に無駄なストレスを与えるような人ならば、何か違うわけです（ストレスを感じる側に問題があることもありますが）。ドン・ボスコはいつたい、どのような他の人と関わる人だったのか、そこを突き詰めたいと感じていました。そして今の段階で言えることは：「ドン・ボスコは本物の愛の人間だった」ということです。彼は非常にデリケートで穏やかな心で周りに尽くしていました。

是非みなさんも自分の目で「ほんとうのドン・ボスコ」を探し求めてみてください。まだまだ無限の可能性が開けていると思います。

いったい、どのように他の人と関わる人だったのか



浦田慎二郎
うらた しんじろう
サレジオ会司祭。
現在ドン・ボスコ研究のためローマに留学中。

私 は現在、ローマのサレジオ大学でドン・ボスコの研究をさせていたたいです。自分にはずっと、「ほんとうのドン・ボスコを知りたい」という思いがありました。現在残念ながら日本語で手に入るドン・ボスコの資料というものは限られていて、その主なものはエピソード中心の伝記のスタイルです。もちろんそれはそれで素晴らしいのですが、もっとドン・ボスコ自身とその社会・文化の歴史・言葉・姿を突き詰めたもの、彼自身の生の言葉への渴きのようなものがありました。簡単に言えば、「ドン・ボスコが何を考えていたのか、知りたい」ということかもしれま

せん。「こんな素晴らしい人がいて、こんなすごいことをしたんです」ということだけではなく、いろいろな自分の思い込みや前提を可能な限り取り去った上で、「どのような条件、時代・社会背景の中で、どのようなように考えて」そのような言動をしたのか、ということを探る必要を感じたわけです。それは、その人の言動の基準、メンタリティを探るということです。それを理解することで初めて、「今の時代・社会背景の中でドン・ボスコならどのように行動したか」、を考えることができ、彼を現代によみがえらせる基本ができるでしょう。それをしないならば、表面的に

特集

インタビュー

ドン・ボスコの教え子たち

ドン・ボスコの学び舎の卒業生たちは、今？

日本のサレジオ家族の学校は、幼稚園から短大まで、現在43校。その卒業生の中から、各方面で活躍中の3人に「今」の仕事や生き方と、その「ルーツ」をインタビューした。

「倫理観をもって誠実に仕事をする、そのために一番大事なのは教育」と、社員教育に力を注ぐ美容サロン経営者。

「上手に作ることでよりも、いつもだれかに思いを伝えるために作ることを教わった」という、アートディレクター。

「神という絶対的な存在のもとに技術があり、技術は人を幸福にしなければならない」という、エンジニア。

多感な子ども・学生時代にドン・ボスコの学び舎で培われた「教え子」たちは、その実りをそれぞれの人生で豊かに分かち合っていた。



★ 牛山大さん

うしやま だい

(株)ハリウッドビューティサロン
代表取締役社長

★サレジオ歴★

目黒星美学園小学校
サレジオ学院中学校・高等学校
(旧川崎サレジオ中学校・サレジオ高等学校)

プロフィール

1970年生まれ。日本最初の美容室、ハリウッドビューティサロン代表。NPOコベルニク理事。映画国際交流「212組」主宰。目黒星美学園小学校、サレジオ学院と進学。東海大学海洋学部で気候変動を研究。その後NYでグラフィックデザイナーとして10年、ミュージアムや国連の広報デザインを担当する。美容家メイ牛山をはじめ、朝吹真理子や藤原正彦など家族に教育者も多数。

www.hollywoodsalon.co.jp



サロンの受付カウンター前にて。後方の写真は創業者メイ牛山とグレース・ケリー。

—現在の仕事を教えてください。

現在、私が代表を務めていますハリウッドビューティサロンは日本で最初の美容室です。祖父母が大正時代に創業し、パーマやマスカラ、メイク、などを日本全国に広めました。ヘア、エステ、メイク、着付け、婚禮、化粧品や健康食品などの販売まで行う総合美容サロンで、皇室関係から総理夫人、女優さんらを代々担当しています。サザエさんの第一巻にも載っていますよ。「美容は肌だけでなく、心も体の中も総合的に美しくなって、本物の美しさが生まれる」という祖母のメイ牛山の哲学が軸になっています。3年前に祖母が97歳で亡くなったこともあって、現在は私が社長を務めています。

—子どもの頃から将来的に家業を継ぐつもりだったのですか？

それはまったくなかったですね。親には好きなことをしていってと言われていましたから。日本では気候変動の勉強、その後、ボストンとニューヨークではグラフィックデザイナーとして10年働いていました。実際、ニューヨークのミュージアムに働いており、アートディ

レクターズクラブ賞など頂いて仕事もあつたので、永住するつもりでした。しかし9・11テロが完全に転換点になりましたね。多くの知り合いが犠牲になりましたし、地元は治安維持のために軍隊が占拠していました。もちろんニューヨークの人たちは全員賛成してないにせよ、いかにも打倒イラクだという戦争ムードには自分では納得がいかず、NYでの生活に疑問もできました。アメリカとしては、やら

れたら徹底してやり返そうという動きでした。戦争というものを直に体験して価値観がいろいろ変わりましたね。

ちょうどその頃、六本木ヒルズプロジェクトが動きだしていました。テレビ朝日と森ビルと私たちのハリウッドグループと3社合同でのプロジェクトです。森ビルもテレビ朝日も人材はたくさんいる。ところが、うちは偶然ここに自宅と会社があっただけで、インターナショナルな人材が少ない。ある意味、時の流れで巨大プロジェクトに参加せざるを得なかったんです。高層ビルができてミュージアムを造って、前に彫刻を置いて、とアート文化の発信の街に変わっていくかなければならない。というわけで、ちょっとデザインを手伝ってくれということで始め、気が

ついたら実家の仕事に引き込まれてきましたね。(笑)

—サレジオで学んで今活きていることはありますか？

目黒星美小やサレジオ学院で学んで得たというところは二つあります。一つはボランティア精神。バザーや街頭募金などで、すごく養われていたと思います。宗教観とは関係なしに博愛精神を体感したこと。小さい子どもが見ず知らずの社会と接する貴重なチャンスでもあり、一人の大人として自覚できる作業ともいえますね。普通の小学生だと自分の家族、自分のクラス、自分の学校、自分のコミュニティー、自分の親戚が限界なんだけれども、ボランティアなどを通して、そういう経験値が知らずに大人への教育になつていくんです。もちろん、こういった経験から社会に出てボランティアがあつても、すんなり参加しやすい精神的に土壌もつくつてくれました。

もう一つは、旧約から新約まで聖書の話を通り教わったこと。基本的に近代の日本の建築や美術には必ず西洋の哲学やキリスト教の影響が必ずあります。洋服だって、建築だつ

「一番大事なのは教育です。」



て、ピアノや絵画の構成要素でさえ、キリスト教がベースですから。実は影響を受けた物が多いですよ。それを理解し味わうために聖書を知っていたということはプラスでした。欧米に行つて、むこうの文化を理解しやすく、交流もしやすい、そんな一面もありましたね。

—仕事をやる上で大切だと感じること何でしょうか？

一番大事なのは教育です。今回の災害でも感じましたが、危機的状況であっても、冷静にきちんとした判断ができるのは、その人が小さいときに学んできた環境だと思います。学歴とかでなく、きちんとした人は慌てないですよ。今のようない時だからこ



目黒星美学園小学校
東京都目黒区碑文谷
2-17-6
www.meguroseibisho.ed.jp



サレジオ学院中学校・高等学校
神奈川県横浜市
都筑区南山田 3-43-1
www.salesio-gakuin.ed.jp

そ、教育の真価が問われます。きちんとした教育で培われた倫理観や哲学が、物事を冷静に判断させてくれます。今、社会ではシステムとカルチャー、理論ばかり習いますが、社会で重要なのは、倫理観です。誠実に仕事ができるのが一番重要です。基本軸がない人は、危機的状況で足下から揺らいでしまいますよ。新入社員も徹底して教育します。私が学んできた事、私の友人などを教材に、勉強会を開催しています。また私自身も他の学校や会社にボランティアで語りに行つています。祖父母やまわりからももらったものを、また伝えて行きたい。そんな気持ちです。★

森本 千絵さん

もりもと ちえ

株式会社 goen® 代表
アートディレクター、コミュニケーションディレクター

★サレジオ歴★

目黒サレジオ幼稚園
目黒星美学園小学校
目黒星美学園中学高等学校



プロフィール

1976年生まれ。株式会社 goen® 代表。
goen®とは「出逢いを発明する。夢をカタチにし、人をつなげていく。」という願いを込めて命名。広告、音楽や映画のアートワーク、空間デザインなど、人の縁で発生するあらゆることを企画し、デザインする。最近の作品に、NHK「てっぺん」、江、サントリーCM「BOSSシルキーブラック」、Mr. Children「SENSE」ほか。初の作品集『うたう作品集』（誠文堂新光社）を昨年5月に発刊。

—アートディレクターとは？

誰かが誰かにものを伝えたいときに、伝えることの中に物語や音楽などを入れたりすると、ダイレクトに伝えるより柔らかく受け入れられたり、より気持ちよく動くようになりますよね。たとえば「⇒」という矢印があるときに、単に矢印があるだけでなく、リスさんが木の枝で右向きに矢印を持っていたら、柔らかいイメージだし楽しく右に曲がれたりしますよね。そんなふうに誰かがあることを自分で選択できるようにお手伝いをし

たり、うまく間に入って五感に訴えかける手伝いをするんです。広告でいえば依頼する人の性格や思いをいっばい汲み取ってデザインしていくことですね。

—どんな子どもでしたか？

青森から東京に戻ってきて、それまでおじいちゃんおばあちゃんとカテントウムシとかしか知らなかったのに、急にサレジオ幼稚園に入園して、一人っ子なので、同じようなサイズの人間（人間）ということも理解していなかったと

思うのですが、たくさんいるのがびっくりでした。どうやって友だちを作ればいいのかからなつたのですが、得意だったのが絵を描くことで、絵を描いていると、先生や周りの子たちが面白がつくれました。言葉でしゃべるよりも、自分としては絵の方が会話しやすかったのだと思います。

その後に通った目黒星美学小では、美術の授業とは別に、絵を描いたり、歌を歌ったり、花に触れるという機会が多かったんです。それが自分にぴったりだったんでしょうね。しかも、絵を描く原点は、「絵をうまくなりましょう」という美術の授業とは違って、誰かに贈るクリスマスカードや母の日のプレゼント。だから絵を描くことやものを作るということ自体が誰かのためということでした。

その頃から、人を楽しませたいというのがありましたね。表現を工夫すると人が反応する、それを見るのが喜びでした。でも私は人前に出るのが恥ずかしいので、いろんな発表会でも自分はアイデアを出して、歌や踊りの得意な子にそれをやってもらっていました。その子たちが、みんなに「おもしろかった。一緒にやりたい」とか言われているのを端の方から見ていてすごい幸せを感じていました（笑）。

星美流というのは、歌も絵を描くことも言葉も、後から付けた趣味とか技術ではなくて、「ありがとう」や「ごめんね」とか、誰かに思いを伝える表現だということですね。

—大事にしてごめんなさい。

幼稚園のときから変わらないうれしいな、純粋にこう言われたらうれしいな、これ言われたら悲しいなということ、ちゃんと敏感に感じ取っていきなさいと思っています。メディアとつながっている仕事ですから、下手をするとすぐにでも誰かを傷つけるものになるぎりぎりの仕事についているんだな、と思うととても怖いんですね。だから自分のやっている仕事は、「どんなことがあっても人を笑顔にする。誰かを傷つける表現だけは、どんなことがあっても絶対しない」という鉄則というルールを持っています。

—NHKの「ようこそ先輩」で母校に行きましたね。

その番組中に感動して大泣きしてしまっただけですよ（笑）。目黒星美学小の6年生の女の子たちと、1年生に楽しく学校を知ってもらおうと掛けを作ったのですが、みんな絵を描くことが大好きだったり、答え方を見つけた方が完全に星美流で、「わかる、わかる。その発想」とかものすごく感じました。そして、自分の今やっていることが小学校のときから変わらないうえ、ほぼ100%に星美流美術の学び方で完全にできている自分を自覚したんだと思います。根本にあることを自覚しすぎて涙が出たんだと思います。卒業してこれまでにいろんな人と関わり、いろんな作品に触れたりしたけど、生徒たちとして一番納得しました。「私、こう系だ」と（笑）。

—後輩たちに一言。

なんでも分ち合うことでしょうか。つらいことがあっても、うれしいことがあっても、自分だけのことじゃないうれしいことですね。それが必ず縁なのだと思います。家族があつて、この教室だから、この先生だから、隣にこの子がいたから、この季節だから、なにかしら全部がつながっています。誰もが自分だけがすごく悲しいとか思ってしまうときも小学生、中学生、高校生なりにあるでしょうし、逆に自分だけがラッキーというのもあるけど、分かち合つてつながりを見つけていくと、それが広がって全体にいい連鎖ができていくと思います。そして、それを感謝する心を持つことですね。★



「ようこそ先輩」のときに生徒たちが作ってくれた作品

「どんなことがあっても人を笑顔にする。」

名刺と一緒にいただいた goen® コイン。手作り。



目黒サレジオ幼稚園

東京都目黒区碑文谷 1-26-24
www.yoho-net.com/salesio



目黒星美学園中学高等学校

東京都世田谷区大蔵 2-8-1
www.meguroseibi.ed.jp



作品集の挿絵を描いたおむらりさんと一緒に



羽深 藍さん

はぶか あい

株式会社 本田技術研究所

★サレジオ歴★

サレジオ工業高等専門学校
(旧育英工業高等専門学校)

プロフィール

1980年生まれ。株式会社 本田技術研究所 汎用R&Dセンター第1開発室 所属。
育英高専 電気工学科で学び、在学中に高専柔道全国大会にて3位入賞。ソーラーカーの研究と製作活動にも参加し、1999年にオーストラリア縦断レースなどに参加。柔道の得意技は一本背負い。



「ホンダでどんな仕事をさせているのですか？」

研究開発を主に担当しています。ホンダといっても、車やバイクではなく、汎用製品と呼ばれるものを扱っています。例えばいま被災地で使われているような小型の発電機や、家庭用の耕うん機、芝刈り機、除雪機など。これは後ろから押して歩く小さなタイプのものです。お年寄りが乗る電動の車いすや小さな船のエンジンなども開発を行っています。私は電気工学科卒業ですから、どんなスイッチをつけよう、どうやって機械を制御しようというようなシステム全体を考え、テストをするといった電気関係の開発を担当しています。

「研究者の女性率は？」

非常に少ないですね。研究開発に従事している女子はわずかです。回りには機械好きの子どもも多いとおじさんはわかりです（笑）。でも育英高専（現サレジオ高専）の5年間も似たようなものでしたので、職場でも違和感なくやっていきました。育英高専が共学となつたのは1988年からですが、それでも電気工学科に入



「技術は人を幸福にしなければならぬものです」

学する女子は少なく、私で6人目だったと聞いています。女子の後輩が増えていると嬉しいのですが。

確かに男の人と一緒に働く体力とタフネスを要求されつつ、女性ならではの考えも出ていくというのは大変です。でも開発の中で女性の感性が生かせることが必ずあります。たとえばメイニューザーが女性の場合、手で握るレバーは男性向けよりも近くないと女性にはきついですよね。そういう観点は女性の方が出やすいです。

「サレジオ高専に入った動機は？」

もともと何か技術職に就きたいと思っていましたが、たまたま母がNHKの「ロボットコンテスト」が好きで私も毎年見ていました。そしてら女の子

だけで参加していた学校があつたんですよ。びっくりしましたね。実はそれが育英高専でした。調べたら家からとても近くでしたので、この学校に行こうと決めました。けれども数学がとても苦手だったので親に頼んで半年間だけ家庭教師をつけてもらい、中学1年生から数学をやり直して受験しました。入って1年目はロボコンをやっていたのですが、次の年からはソーラーカーなどの省エネカー製作に移行してそれからはずっと省エネカーをやっていました。4年生のときにはアメリカとオーストラリアにレースで行くことができました。オーストラリアでは1週間風呂なしでテント生活ですからとても大変でしたが、仲間と一緒にレースができることが楽しかったので苦にはならなかったです。

「サレジオ高専で培ったものは？」

高専の校是である「神は愛なり 技術は人なり 真理は道なり」に表されていると思うのですが、技術は人のために使つて初めて技術であり、

人を幸福にしなければならぬものです。そしてエンジニアはそれを必ず心に留めていないといけないと思います。そういった考え方や、「神は愛なり」とあるように互いを愛し、人を大切にすることを校是として掲げている工業学校はとても珍しいと思います。神という絶対的な存在があつて、そこに技術があるという考えは、ものの方としてとても貴重です。卒業して社会に出て初めて気づくことができました。

また入社してから一人では何もできないことがよくわかりました。まさに「技術は人なり」です。どんなにすごい技術であっても人と折衝できないと思えば、それはやはり「技術」ではないと思います。たった一人の人も納得させられない技術は、他の人も説得できるわけはなく、それを世の中にだしても決してよい商品にならない。つまりエンジニアといえども人と対話することをあらかじめはならぬという事です。

また商品を開発するわけですから「人」にお客様について知らなければ何もできません。私は耕うん機を長

く担当していますが、入社した時は耕うん機を使ったことがなかったので、ひたすらずっと使つて、どう使われるかを勉強しました。農家に嫁にいけるんじゃないかと思うくらい使いましたね（笑）。除雪機でも同じように北海道と新潟に詰めて一日中ずっと除雪をしました。とても大変でしたが、お客様相手の境遇をきちんと理解して商品に反映したいという思いで乗り切りました。そういう考えが自然に出てくるようになったのはサレジオ高専のおかげだと思います。おそらく私以上に高専生活を楽しんだ学生はそうそういないと思います。柔道やソーラーカーレースで国内外に遠征もだいたいさせてもらいました。その経験の一粒ひとつぶが今の私のもとになっています。★



サレジオ工業高等専門学校
東京都町田市小山ヶ丘4-6-8
www.salesio-sp.ac.jp

言のどきあますぜ...



今回の一言ときまますけど〜人

佐藤 直樹 (サレジオ会司祭)

人の“思い”は“重い”ものなんだよ!



佐藤 直樹 さとう なおき
サレジオ会司祭
現在、カトリック碑文谷教会助任司祭。

先日、あつげらかんと軽く「死にたいので自殺していいですか?」と中学生の女の子が言ってきた。とっさに出たのは「ふざけるな! 人生なめんじゃねえ!」という怒りの一言だったよ。最近よく「軽い気持ちで...」という言葉を耳にするよね。「軽いノリ的な...」とか、「軽い感じで...」など。そういえばテレビもバラエティーに代表されるような「軽い笑い」が主流だよ。

ね。でも、この世間的な「軽さ」が通用しないものがあるんだよ! それ「命」! 特に「人間の命」だけは軽く扱えるものじゃない! だって今日もどこかで、誰かが、必ず、「僕のこと」を思っている人がいるから。たくさんさんの思いが詰まって、今を生かされているのが、この僕だから...。そのたくさんの人の思いを自分で断つな

んで...人の「思い」は「重い」ものなんだよ! 軽く扱えるもんじゃあない! 特に今回の東日本大震災で「まだ生きていたかった」のに、生きることを強制終了させられたたくさんの人たちのことを「思う」と、今を生かされているこの命がどれだけ「重い」ものか! だから、思えば思う「ほど、命の重さ」を粗末にすることのすべての行為に對し言っておきたい一言だよ。★



幸福のスイッチ

安田真奈脚本・監督DVD
2006年全国劇場公開作品
4935円 東北新社

し あわせは、あんがい身近に転がっている。この映画は電器屋を営む主人を支える家族の物語である。父親を囲む三人姉妹の右往左往が描かれる。地方都市の家族のきずなを描く本作品は、ひびひに「ほっと」一息つくことのできるゆとりをかもしだす。こたつで蜜柑を食べるような、なつかしい家族の風景。

十二夜

ウィリアム・シェイクスピア
松岡和子訳 1998年、2011年
735円
筑摩書房(ちくま文庫)



何 組もの男女が恋の駆け引きをつづけている。なかなかうまくいかない。ちよとしたボタンのかけがちが。航海中に嵐に遭遇して大波に流されて生き別れとなった兄と妹。妹は髪をばつざりと切り、兄の真似をする。そして、鏡を見ながら語りかける。まるで目の前に兄がいるかのように。滑稽な誤解の連続を経て、最後はみんなが大団円を迎える名作は読者に希望を与える極上の喜劇。

本のひととき

Book Review

評者 ● 阿部仲麻呂

あべな かまろ
サレジオ会司祭

キリスト教は、まっとうなものだ。

キリスト教は、まっとうなものだ。そんなにひどく考えなくてもよい。戦争の原因は、キリスト教ではないか。自然破壊の元凶は、キリスト教ではないか。日本の一般人たちは鋭く問いかける。しかし、あらゆる悪や罪は神に由来するわけではない。むしろ、人間が自分勝手に利益を追い求めるからこそ悪が生じて罪が積み重なる。結局は一人ひとりに責任がある。神のせいにするな!

キリスト教を

問い直す

土井健司 2003年、213頁
756円
筑摩書房(ちくま新書)



ぼくたちが

聖書について

知りたかったこと



池澤夏樹 2009年、284頁
1680円
小学館

知

りたい。でも、誰も教えてくれない。語りたい。しかし、どう伝えればよいのか。――聖書をめぐって、信徒と司祭が、それぞれ、よく突き当たった問題。しかし、会話調の本書を読めば、何らかのヒントが必ず見つかる。とくに、現代の日本人にとっての急所がまんべんなく押さえられているので、読んでいて勉強になる。たとえば、以下のとおり。――「過去形のないヘブライ語では、過去に交わされた会話はすべて直接話法で語るのですから、直線的な未来志向にはならない。もつと言えは、天地創造というも過去のことでなく、いまだ終わっていないです」(25頁)。新鮮である。わくわくする。楽しもう。

ドン・ボスコの聖遺物が2015年の生誕200周年に向けて全世界を旅している。昨年11月、ドン・ボスコのアジア巡礼が韓国から始まった。韓国からタイへ、そしてフィリピン南・北管区、ベトナム、2月初めにベトナムから日本へ。大きな感動と喜びのうちに日本各地に迎えられたドン・ボスコは2月下旬、日本を発ち、インドネシア・ティモール管区の巡礼を開始。イスラーム教国のインドネシアでは、ドン・ボスコと聖遺物について若者たちに

アジア・オセアニア

ドン・ボスコのアジア歴訪



ベトナム



中国



フィリピン南の様子

紹介する機会となり、東ティモールでは、大統領も出迎え、国をあげての大歓迎となった。その後、オーストラリア、中国、ミャンマーと巡礼は続き、5月、インドに入った。広大なインド亜大陸は9つのサレ

日本との連帯のうちに

アジア・オセアニア

ジ才会管区を擁する。聖遺物は11月中旬まで各地を巡り、インドの人々、若者たちと出会い、その後、スリランカへ向かう。



インド

サレジオ会東アジア・オセアニア地域の Team Visit が、3月8日からタイのファヒンで行われていた。総長をはじめローマの最高評議員と、同地域の管区長・管区評議員が6年に1度集つこの会合が終わりに近づいた11日、日本の大震災のニュースが飛び込んできた。一同は大きな衝撃を受け、また被害の大きさがわかるにつれ、悲しみを深めた。日本管区長チブリア二師には、総長はじめ各国参加者からいたわりと励ましの言葉が寄せられ、共に祈りが捧げられた。その後、サレジオ会ローマ本部と各国から状況の問い合わせ、ボラ

2011世界大会 8月にポーランドで開催

ポーランド

ADMA 扶助者聖マリアの会 日本でも今年7月に正式に発足する「ADMA 扶助者聖マリアの会」は、聖母の取りなしによって信徒が信仰を強め福音のために働けるよう、ドン・ボスコがトリノの

ンティア派遣や物資調達の申し出が相次いだ。日本管区として被災者支援について検討が行われ、海外から一般ボランティアを受け入れていない日本の事情などから、仙台教区、カリタス・ジャパンを通して行う救援資金への協力をお願いすることになった。 これまでに、ソロモン諸島、バブアニューギニア、南米など、決して経済的に余裕があるとはいえない諸管区から、またオーストラリアやドイツなどから積極的な資金援助が届いている。ポーランドでは、日本のためのコンサートが行われ、収益金が送られた。 復活祭に出された書簡の中でチャー・ベス総長が述べているように、3月11日以降、全世界のサレジオ会は日本との連帯のうちに祈っている。韓国では、若者たちの発案にサレジオ会員も加わり、日本のために祈りのリレーが行われた。

ドン・ボスコゆかりの地を巡る



記念聖堂の建つ丘からの眺め



記念聖堂



手前が生まれた後、移り住んだ家。奥に生まれた場所に建つ記念聖堂が見える。



コッレ・ドン・ボスコ (旧ベッキ) | ドン・ボスコが育った家と記念聖堂 |

★ イタリア北部ピエモンテ州 ★

聖ヨハネ・ボスコは、北イタリアのピエモンテ地方、トリノから30 kmほど離れたベッキ村で、1815年8月16日に生まれた。現在、記念聖堂が建っている場所に、彼が生まれた家があった。ヨハネが3歳になる前に父親が亡くなり、父が前もって買っていた貧しい家でヨハネは育った。この家の2階で、ヨハネは9歳の時にその生涯を決定的な夢を見た。イエスとマリアが現れて、おとなしい羊に変わったどう猛な動物たち(少年たち)の先頭に立つように、またそのために「謙虚で、心強く、たくましくなりなさい」と命じた。 その夢により、ヨハネは将来神父になつて、青少年の教育に生涯をささげる道に召されていることを悟った。家庭はとても貧しかったが、その夢を見てから、ヨハネは、友だちを遊ばせるために曲芸をやったり、良い話を聞かせたりするようになり、大変な困難を乗り越えて、どうしても勉強の道を志すようになった。マンマ・マルゲリータはその支えとなっていた。 今、ドン・ボスコが生まれ育ったところは、コッレ・ドン・ボスコと呼ばれ、サレジオ家族の巡礼地となっている。

文 ● ガエタノ・コンプリ Gaetano Compri サレジオ会司祭。調布のチマッティ資料館館長。



扶助者聖母大聖堂を拠点に創立した信心会。サレジオ家族の一員として世界に広がっている。

今年8月3日から6日にかけて、ポーランドの古い聖母巡礼地チエストホヴァで、ADMAの世界大会が開催される。大会のモットーは、福者ヨハネ・パウロ二世の maria にゆだねる言葉、「Totus Tuus Mariaよ、私のすべてはあなたのもの」(聖ルイ・グリンニオン・ド・モンフォーアの祈りより)。大会はサレジオ家族の集う喜びの時、マリアの汚れなき心ゆだね、マリアをより深く知り、共に祈り、分かち合い、遊び、互いに知り合う機会となる。



トリノの扶助者聖母大聖堂の壁画

イタリア

5月18日 ニーノ・バリエリを記念して

今年、ドン・ボスコ・ボランティア(CDB)のニーノ・バリエリ(1951~2007)の命日は、数々の催しもあって祝われた。ニーノを知っていた人々、特に彼の家族、イタリアのCDB、シチリアのサレジオ家族、ノト教区は、列福・列

ランティアの協力を得て工事の第1段階は無事に完了。マタエリガ大司教の要請を受けて始まったプロジェクトのために、サモア政府は安価で土地を長期貸与し、ドイツのサレジオ宣教事務局はドイツ政府から援助金50万ユーロを獲得、オーストラリア管区共同体、管区長の家族、サレジオ会総長ら、多くの人が協力・支援した。

ペルー

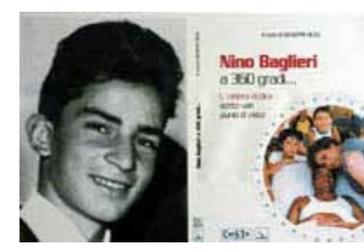
ペルーのスラム街に保育園 建設資金の不足により中断の恐れ

ペルーのスラム街に保育園を建設するため、イエスのカリタス修道女会・リマの聖女ローザ管区が建設資金のための募金呼びかけている。日本で創立された同会が南米で宣教を始めて47年。現在13か国に広がり、南米はブラジル、アルゼン

聖調査を開始するのに必要な5年がたつのを待っている。すでにニーノの取り次ぎによる数々の恵みが報告されている。



ニーノの生涯を描いた若者たちによるミュージカル



ジュゼッペ・ルタ神父著 「ニーノ・バリエリのすべて」

5月14日、ニーノが生まれ育ったモディカのサレジオ会支部で、この奉獻されたサレジオンについて書いた新しい本、「ニーノ・バリエリのすべて―さまざまな角度から見た神のアスリート」(ジュゼッペ・ルタ神父著)が紹介された。ノトの前教区長マランドリーノ司教、シチリアのマツァーリ管区長、モディカ市長、近隣から集まった大勢の人々が立ち会った。同書のまえがきを、



左がマリアタキ保育園の仮園舎(旧聖堂)。右はインマクラータ・コンセプション巡回教会。



保育園の建設現場。砂地のため基礎工事に多額の費用がかかった。建築資材が盗まれないよう24時間監視している。

チン、ボリビア、ペルーで活動している。現地で会員になる人にも恵まれ、召命促進にも力を注いでいる。

ペルーでは、2か所のスラム街で地域の人々と共に生活。2011年1月からは18年間奉仕したパンプロナ・アルタ地区の貧困から少々自立できた人々を後にし、より貧しい人々のいる隣のピヤ・マリア・デル・トゥリウンフォ区サン・ガブリエル町に移転。貧しい家庭の子どもたちを養育するマリアタキ保育園も共に移転した。マリアタキ保育園の新築工事は、日本大使館から支援を受けてカリ

サレジオ会のチャベス総長とノトのスタリアノ司教の2人が書いている。マランドリーノ司教を中心に、サレジオ会・教区の多くの司祭が共同司式してミサが捧げられた。ニーノを記念する日の最後を飾ったのは、若者たちによるミュージカル「愛のつばさについて」。サレジオ会支部の建物と庭いっばいに集まった人々は、友人ニーノを思い起こし大きな感動に包まれた。

ニーノは1968年に職場での事故によって全身の運動機能を失った。数年に及ぶ絶望的な日々を過ごした後、自分の状況を平安のうちに受け入れられるようになったと語っている。「主は口で字を書けるようにしてください。使命を与えられたのです。私が体験したこと、今心に感じていることを書いて人に伝えられるように。最初は詩や祈りを書き始めました。



ジュゼッペ・ルタ神父(新刊書の著者)と

……そうやって僕の使命は始まりました。全世界に向かって主をあかしする使命が」。ニーノは生きる



朝の登園風景。入園から2ヶ月がたちすっかり緊張も解けました。



休み時間。暇を見て、子どもたちの頭に櫛を入れる。家に水がないので、8人中5人は頭にしらみがいる。

タスヘルが進めているが、建設が急な傾斜の砂地のため基礎工事に多額の経費がかかり、現状では予定の半分しか建築のめどが立っていない。残り、2つの保育室とトイレ、外壁のための資金が不足している。スラム街のこの地域は治安が悪く、途中で工事を中断することは労働組合の圧力など非常に難しい問題につながる恐れがある。

現在、既存の古い聖堂を利用して保育を始めている。カリタス・ペルーの調査でこの地域には5歳未満の子どもが800人以上いると報告を受けていたが、入園者は現在8人。

喜びにあふれ、多くの若者に希望を与えた。

※サレジオ家族に属す奉獻された男子信徒の在俗会

サモア

新しい学校の挑戦

6月3日、サモアのサヴァイイ島のサレロロガに、島で唯一のカトリック中等学校、サレジオ会オーストラリア管区のドン・ボスコ中等学校・職業訓練センターが開校した。開校式には、サモアのトワイラエパ首相、マタエリガ大司教、オーストラリア・太平洋管区長モローニ神父、多くのサレジオ会員、シスター、友人、生徒、保護者が参加。授業はすでに1月から始まり、120名の生徒が学んでいる。



開校式

溶岩質の土地、物資補給の難しさなどのため、校舎建設は苦労の連続だったが、校長のモーゼス神父監督のもと、管区の「カリエロ・ボ



"ありがとう!"ご支援くださった皆様に感謝を込めて!

同管区長テレジア川端キヌエシスターは「何もないとことから、ゼロからの出発ですが、日ごとの糧を求めて働く母親、貧しい家庭を応援するため、祈りのうちに夢と希望をもって取り組んでいきたい」と語る。相変わらず、パンの餓えが続くペルーのスラム街。「皆さんの支援金で、貧しい不毛の地は、神様の光栄と人々の真の幸せのための実り多い豊かな地に変わることでしょう」と募金呼びかけている。

◆ペルーの保育園建設のためご寄付のお願い
下記の振込口座まで(または本誌とじ込みの払込用紙にて)ご寄付をお願い申し上げます。
郵便振替
口座番号 00100-7-412947
加入者名 「ドン・ボスコの風」編集事務局
※通信欄に「ペルーの保育園建設のため」と明記してください。



小百合愛児園

宮崎から 大分へ

4日18:50~6日12:00

新燃岳の火山灰が降る宮崎市内から北上し、夕刻に大分のサレジオン・シスターズ大分修道院に到着。シスターたちは深夜まで聖遺物への祈りを続けていた。翌5日は小百合愛児園の子どもたちに囲まれた後、中津の聖ヨゼフ寮、その後中津教会へ。聖ヨゼフ寮には遠く北九州や新田原からも駆けつけ、予想をはるかに超える参加者にうれしい悲鳴だ。翌日、別府教会の主日のミサには、サレジオ会最長老のタシナリ神父も参加。翌朝は海の星幼稚園児の大歓迎を受けて別府を後にした。



小百合愛児園



中津教会



聖ヨゼフ寮



聖ヨゼフ寮



長崎星美幼稚園



別府教会



別府教会

大分から 長崎へ

7日16:30~8日12:00

大分を出発し、九州横断240kmの旅は順調に進んで、夕刻に長崎の市街地から遠く離れたカリタス会外海修道院へ到着。この地でもシスターたちをはじめ100人を超える人々の熱烈な歓迎を受けた。翌朝、カリタス会外海診療所の車椅子に乗った何人のお年寄りが、付き添いの人々と共に参列する姿に感動。その後ご像は大村の長崎星美幼稚園児鼓笛隊の出迎えを受け、園児たちはイタリアから同行している2人からプレゼントを受け取った。

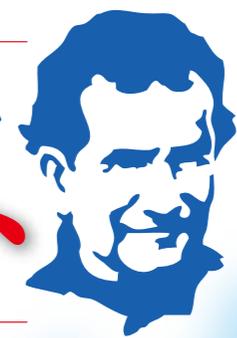


イエスのカリタス修道女会外海修道院

2011年 2月2日~18日

聖ヨハネ・ボスコ聖遺物日本巡礼

巡礼密着リポート



Don Bosco
from Turin, Italy
in Japan

2015年のドン・ボスコ生誕200周年に向けて、ドン・ボスコの聖遺物は今、世界中を巡礼している。2011年2月、聖遺物はいよいよ日本を訪れ、宮崎から東京まで17日間をかけてサレジオ会家族の支部や教会を巡礼。ドン・ボスコに触れた2万人の人々は、喜びの熱気に包まれた。



ほぼ等身大のご像

出発前夜

日本を訪れた聖遺物は、多くの人々に祝福を与えたドン・ボスコの右腕の骨(27cm)。その聖遺物は、高さ164cm、重さ70kgのほぼ等身大のご像に納められる。ご像を移動するために立派なおみこしと台車、ミニ祭壇を製作し、これらがライトバンの荷室に何とか納まる事が確認できたのは、出発前夜だった。



ミニ祭壇



巡礼に使用したライトバン



宮崎教会



川南保育園



宮崎教会

東京から 宮崎へ

2日7:15~4日13:00

朝6時に東京四谷のサレジオ会管区長館チャペルでミサが捧げられ、聖遺物を載せたライトバンと随行スタッフ車は日本半周約3000km、25拠点を巡礼する17日間の旅へ出発。聖遺物世界巡礼の全行程に同行しているカルロ・アルギンさんとセルジオ佐藤修さんも一緒だ。東名・名神高速道を走破して夕刻大阪港からフェリーに乗り、翌朝8:30にサレジオ会が日本で最初に事業を始めた地、宮崎に上陸。最初の巡礼地、宮崎教会で厳かに迎えらる。午後はイエスのカリタス修道女会川南の保育園児たちから「いっしょに歩こうドン・ボスコ」の歌の歓迎を受け、夜はカリタス会宮崎修道院を訪問。翌4日は日向学院でグレゴリオ聖歌付きの全校ミサが行われた。



イエスのカリタス修道女会宮崎修道院



日向学院



星美学園小学校



星美学園中学高等学校



静岡サレジオ



大阪星光学院

長崎から 大阪へ

8日22:30~9日16:00

正午に長崎を立ち、大阪へ向かう中国道750kmの道中は、雨と雪に見舞われて巡礼中最大の難関となった。眠気に襲われながらも4人のドライバーが交代で運転を続け、22:30に大阪星光学院に到着。大阪星光学院講堂に安置されたご像には、翌朝、城星学園の幼稚園児、中学生、高校生の順に礼拝に訪れた。園児たちはセルジオさんに抱いてもらってご像の頭に触ることができた。



サレジオ小中学校



サレジオ工業高等専門学校



サレジオ小中学校

大阪から 三重、静岡へ

9日19:10~11日12:00

エスコラピオス修道院内の四日市サレジオ志願院に到着したご像は、志願生たちのバンド演奏による歓迎ミサに迎えられた。志願生たちはコーラスと寸劇を披露。翌10日は浜松教会へ向かい、ご像は重さ400kg、24人の担ぎ手による巨大なおみこしに載って、司牧センターから聖堂まで行列。南米から訪れている人々の歓迎ぶりは熱烈で、ゆるしの秘跡を受ける人の列は4時間以上に及んだ。11日は静岡サレジオを訪れ、全校ミサが盛大に行われた。



四日市サレジオ志願院



浜松教会



イエスのカリタス修道女会本部



チマツティ記念聖堂(調布サレジオ神学院)



調布サレジオ神学院



チマツティ神父と「再会」



目黒星美学園小学校 5年生の作文より

- ・(聖遺物が納められた像に触れて) ずっとここにいたいという気持ちになった。…僕は我にかえり、おいのりをしようと思った。全ての人々が楽しく満足のいく日々をおくれますようにと。すると完全にドン・ボスコと心がつながった気がした。…心があたたかく、喜びに満ちていた。(青木龍之介)
- ・今日 ドン・ボスコに 会った/愛の力を もらった/ドン・ボスコに 見守られながら 頑張っていきたい/めったにない幸運 味わいながら 力を発揮したい (唐木田耕大)

ドン・ボスコ、日本に来てくださってありがとう!

聖遺物巡礼で参加者が熱心にロザリオやご絵などを聖遺物に触れさせる様子を見て、とても時間が足りないと感じましたが、できるだけ皆さんがドン・ボスコに触れられるように努めました。ドン・ボスコ、日本に来てくださってありがとう! あなたは私たちを確かに愛しているのですね。そして、あなたが日本にいる人々からこんなにも愛されていたとは私も想像できませんでした!

山野内 倫昭 サレジオ会司祭・聖遺物日本巡礼コーディネーター

ドン・ボスコの聖遺物が訪れた日本のサレジオ家族25拠点でご像に触れた人々の数は2万人。ご像を運ぶスタッフの一人としてご像と共に過ごした17日間は、本当に心豊かな恵みに満ちた時で、訪れた各地で起こった多くの感動を目の当たりにしました。改めて、ドン・ボスコの愛と慈しみが偉大な遺産として多くの人々に浸透していることを実感しました。

梅村 護 サレジオ・コオペラトリー会員

神奈川から 東京へ

12日14:00~18日

目黒星美学園小学校講堂に溝部司牧を迎え、ご像の前でドン・ボスコの教育法についてシンポジウムが行われた。翌13日は碑文谷教会で小学生とサレジオ幼稚園児全員が礼拝し、サレジオ6教会合同ミサが厳粛に営まれた。14日は世田谷の目黒星美学園と赤羽のサレジオ・シスターズ本部を訪問。15日は赤羽の星美学園の子どもたちに盛大に見送られ、下井草教会、イエスのカリタス修道女会本部へ。16日は小平のサレジオ小中とサレジオ学園、町田のサレジオ高専を経て調布サレジオ神学院に到着。17日はチマツティ記念聖堂でドン・ボスコとチマツティ神父が「再会」し、調布教会では教皇大使を迎えて盛大なミサが行われた。巡礼最後の18日は、朝7時に神学院でのお別れのミサに送られ、10時には四谷のサレジオ会管区長館から次の巡礼地、東ティモールに向かうために成田へ旅立った。



静岡から 神奈川へ

11日16:00~12日14:30

予報された雪は、東名を上って川崎の鷺沼教会に到着する頃には白く積もり始めていた。訪れる人々が少ないのではという懸念は当たらず、ここでも記念メダルを100個以上追加することに。翌12日は横浜のサレジオ学院講堂で全校参加の歓迎儀式が行われた後、ご像は目黒の碑文谷教会へ運ばれ、日本半周の旅は東京へと戻ってきた。



サレジオ学院幼稚園(鷺沼教会にて)



サレジオ学院中学校・高等学校



碑文谷教会



サレジオ・シスターズ世田谷修道院



目黒星美学園中学高等学校



ドン・ボスコ巡礼 聖遺物・記念ミサ

ドン・ボスコの風 20

人間さん。

文・ノゾエ征爾
絵・おむらまりこ

人間さんは、ある時、二体のロボットを作りました。少年ロボットと、大人ロボットです。人間さんは、少年ロボットには少年の心を、大人ロボットには大人の心をインプットしました。

少年ロボットは、悪さやんちゃばかりをしていました。その度に、大人ロボットが叱りました。少年ロボットは、小うるさい大人ロボットでないかなければいいのと思っていました。

ある時、少年ロボットは、車にひかれて、右腕がコナゴナになってしまいました。世界にはもう部品が残っていないので、人間さんには、もうどうすることもできません。

すると大人ロボットが人間さんに言いました。

「ワタシの右腕ヲ 少年ニあげてクダサイ」

「だげどそうしたら、君の右腕がなくなっちゃうぞ？」

「ダイジョウブデス」

人間さんは、渋々従うことにしました。そうして大人ロボの右腕が外され、少

年ロボに取り付けられました。

少年ロボットは、右腕だけ不格好になって、好きではありませんでしたが、ないよりはマシだと思えました。そうしてまた、やんちゃに遊びまわりました。

またある時、少年ロボットは、トラックにひかれて、左足がつぶれてしまいました。するとまた大人ロボットが人間さんにお願いをしました。

「ワタシの左足ヲ 少年ニあげてクダサイ」

「だげどそうしたら、君の左足がなくなっちゃうぞ？」

「ダイジョウブデス」

人間さんは、渋々、大人ロボの左足を少年ロボに取り付けました。

少年ロボットは、左足まで不格好になって悲しい気持ちでしたが、歩けないよりはマシだと思えました。そうしてまた、やんちゃに遊びまわりました。

右腕と左足が無くなった大人ロボットは、遠くからその様子を眺めていました。

ある時、人間さんが、ひどく落ち込みながら帰ってきました。

「少年ロボが電車でひかれて…」

少年ロボの頭だけが残っていました。大人ロボは、残されたその頭をじっと見つめていました。

それから数日。

少年ロボが目を覚めました。

起き上がってみると、自分の体全部が大人ロボになっていました。

右腕と左足のない、あの体です。

横を見ると、人間さんが泣いていました。人間さんの腕の中には、大人ロボの頭が抱かれていました。

少年ロボットは、少し申し訳ない気持ちにはなりませんが、体は不格好だし、右腕と左足もないので、とても暗い気持ちになりました。

大人ロボットへの感謝もなく、逆に、うるさいのがいなくなって良かった、くらいにしか考えていませんでした。

ある時、どこからともなく女の子ロボが現れました。少年ロボットは、不格好な自分を恥ずかしく思いましたが、女の子ロ

ボは、構わず仲良くしてくれました。少年ロボットは、次第に女の子ロボの事が好きになっていきました。

そんなある時です。女の子ロボの足が、雷に打たれて爆発してしまいました。少年ロボットは、右足がなくなってしまった女の子ロボの姿を見て嘆き悲しみました。そして、人間さんに叫びました。

「オレの右足をアゲテ！」

人間さんは驚いて聞き返しました。

「え？しかし、君はすでに左足がないから…」

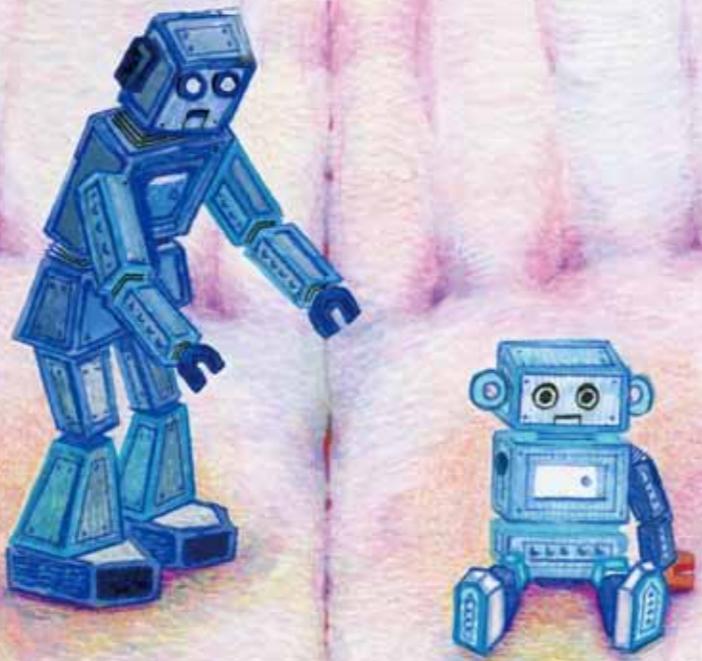
「…ダイジョウブデス！」

少年ロボットは、棚に飾られた大人ロボの顔を見て泣いていました。

大人ロボの気持ちがようやく伝わった。人間さんは、嬉し泣きをしながら、少年ロボの右足を女の子ロボに取り付けました。

そうして両足がなくなった少年ロボットですが、女の子ロボに車椅子を押してもらいながら、今日も仲良く過ごしています。人間さんは微笑ましくその様子を眺めています。

人間さんは、ふと、大人ロボの顔が微笑んだように見えたが、それはきつくと、気のせいではなかったような気がしました。



私は一人の貧しい神父にすぎない。

でもこれから先、たとえ一切れのパンしか持っていない時でも、

それを君と半分にするよ。

ドン・ボスコの言葉 ~完訳ドン・ボスコ伝 P.160~

ノゾエ征爾

のぞえせいじ

サレジオ学院中学校・高等学校卒業。脚本家、演出家、俳優。大学在学中より劇団「はえぎわ」を主宰。舞台、映画、テレビ、ラジオ等で活躍中。

www.haegiwa.net

おむらまりこ

目黒星美学園小学校 図工科教諭。武蔵野美術大学院修了。絵本に「はいろのこひつじ」「たいせつなおくりもの」「ヨハネ・ボスコ たいせつなゆめ」。イラストに「森本千絵うた作品集」



広々とした校内で太陽のもと伸び伸びと遊ぶ生徒達。



縦の関係が深く、みんな名前を知っている。



サレジオ小学校 (サレジオ中学校併設)
東京都小平市上水南町 4-7-1
<http://www.salesio.ac.jp/>

「ともに生きる喜びをもって生きる」とを身につけてほしいと願っています。

サレジオでの小学校6年間の学習は「学ぶこと」の確かな土台を育むことだと考え

一人ひとりと向き合う

「アシステンツァ」と呼んでいます。子ども
の動きを近くから見届け、いつも成長を思
い、さりげなく適切なアドバイスを与えるこ
とができます。アシステンツァは「監視」で
はなく、子どもといつも喜びを分かち合い、
子ども自身が望んで良い道を選ぶことがで
きるよう励ます態度です。

「アシステンツァ」共にいること

サレジオ小学校はサレジオ会の創立者、
聖ヨネ・ボスコの教育理念による教育環境
を目指しています。その教育は「愛情」「道
理」「宗教」を3つの柱とする「予防的
教育法」を特徴とします。子どもの身近
にいてこのような教育環境を支えることを

美しい環境のなかで

休み時間のチャイムがなると、待ちかね
たように飛び出してくる子どもたち。ち
いさな中庭がたくさん笑い声で満ち、に
ぎやかになります。サッカーあり、縄跳び
あり、フラフープあり。「快活であれ joy-
full!」という聖ヨネ・ボスコの言葉がよ
みがえつきます。学校を自分たちの宝物
にしている子どもたちの姿はとてもまぶし
い。皆さんも私たちの新しい仲間になっ
てください。

創立のいきさつ

戦後の荒廃した東京で、戦災孤児の救
済を目的に東京サレジオ学園（児童養護
施設）が設立され、1947年、本校の
前身である東京サレジオ学園小学校が併
設されました。後にサレジオ小学校と改称
され、サレジオ中学校も併設。一般募集

クリスマス・セミナーなどの宗教行事を
大切に、毎週キリスト教の人生観に基づ
いた話をしています。また、音楽や美術
など感性を育む教育を重視し、小中合同
の体育祭や文化祭、音楽会などみんな
考えながら作り上げる行事も大切にして
います。

キリスト教の人生観を大切に

一人ひとりの個性を受け
止め、本人らしくふるまえることを大切に
しながら、自分の課題としっかり向き合う
よう助け、自立を目指します。



1学年1クラス、男女22名の落ち着いた空間。



緑あふれる広々とした敷地のなかに点在する
かわいらしい教室は、ひとつの村のよう。



Ciao!

チヤオ!

サレジオ家族探訪

Salesian Family Visit

ドン・ボスコの精神を受け継いで、日本各地で活動するサレジオ家族の修道院・学校・教会・施設などを探訪。各地の「ドン・ボスコらしい、サレジオ家族らしい風景」をお伝えしていきます。

文 ● 編集部 写真 ● 佐藤 祐介、濱邊 正、編集部

東京都小平市

サレジオ小学校

快活であれ ビー・ジョイフル

Be joyful!





おやつをいただきます



お祈りの時間

Ciao!
チヤオ!
サレジオ家族探訪

親子そろって マリアさまにご挨拶

福島県白河市

イエスのカリタス修道女会 白河修道院



山崎シスター、園児とお母さんたちと一緒に

イエスのカリタス修道女会が福島県白河市に来て9年。当時の仙台教区長、溝部脩司教の要請を受けて、イエス孝女会が担当していた幼稚園を引き継ぎました。サレジオ家族としては仙台教区（青森、岩手、宮城、福島）にある唯一の支部で、しかも日本で最北。東日本大震災の3か月後、今もまだ放射能汚染が懸念されている白河を訪ねました。

園児が親を引っ張って

白河市にあるカトリック施設は、隣接する教会とこのカトリック幼稚園と修道院のみ。市民がカトリックに触れられる貴重な宣教の場となっています。

「園児に『マリアさまの像の前で挨拶をしましょう』と教えますが、最初の頃は園児たちだけが挨拶していても、次第に今度は園児が『ママだよ』って言うて引っ張って来て、親子で一緒に挨拶しています。そういう姿を見ると、アウケれい気持ちになりますよね」と山崎園長（院長）シスター。子どもにまず働きかけ、次に子ども自身が家族に宣教していくのは、いかにもドンボスコ的だ。

みちのくの地で

修道院のシスターは全部で3人の小所帯。山下シスターはこの4月からこの修道院のメンバーになりました。幼稚園では事務の手伝い。原発事故のことで福島からどんどん人が脱出している状況で白河市民

となった貴重な存在です。

3人は教会でも典礼の奉仕をし、積極的に信徒と交わりながらこの地で地道に宣教を続けています。

「東北自動車道で福島に入るとき『これよりみちのく』とありますよね。道の奥か、と印象深かったですね（笑）。でもやはり、この時にこの地にいるということの使命を感じます」（山崎シスター）

大震災の3月11日

その日、幼稚園は午前保育と父母の会総会のため、ほとんどの園児が帰った後で、10数人の預かり保育の園児だけがいました。突然の激しい揺れ。修道院の副院長で炊事担当の大山シスターは「横揺れで2階の修道院がそのまま地上階の駐車場にある幼稚園バスの上に落ちてるかと思うほどの揺れでした」と話します。

電気はすぐ復旧しましたが、修道院と幼稚園も10日間くらい断水。余震も止まらずしばらく休園を余儀なくされました。

一番残念だったことは、白河市内の葉ノ木平で、園の年長と年中の2人の兄妹が母親とともに土砂崩れに巻き込まれて亡くなったこと。地震の揺れで住宅地に山が覆い被さり捜索は難航。1週間後に遺体で発見されました。

「亡くなった年長のりゆうき君は、卒園感謝式で代表として感謝の手紙を読む

予定だったんです。リハーサルも立派にやって卒園式を待つばかりでした」と山崎シスター。そのときに読むはずだった手紙が残っています。

「今読むと、残された私たち、今生かされている私たちみんなに對するメッセージとして受け取れるように思います。『みんなが笑顔になって欲しい』というりゆうき君の願いを感じます」

長引く影響のなかで「共にいる」

大震災から3か月たった今も、原発事故の影響で地域は厳しい状況にあります。園児数は去年まで200名を越えていましたが、現在172名。もともと減ってきてはいましたが、放射能への不安から県外避難者が増えているといいます。

「実家が他県にある人は避難されていてなかなか戻ってきません。お子さんが小さいところは、ご主人だけが仕事があるから1人残されてというケースを聞きます」

震災の傷は大きいものでしたが、嬉しかったことも。「全国のイエスのカリタス会の姉妹やたくさんの方から、お見舞いやお祈りの電話がかかってきて大変励まされました。信者さんや職員からも、水やガソリンなどを分けていただいて、かなり助けられました」震災の痛み、放射能と余震への不安。その中で3人のシスターたちは「共にいる」火を静かに灯し続けています。

卒園式で読むはずだった手紙

かみさま ぼくはうさぎバッチからようちえんにきました。まだちいさかったので ままとはなれなくて ないていました。

ようちえんでいちばんのおもいでは さいごのうんどうかいのリレーでした。かみさまがみんなに がんばることをくださったから ぼくのBチームは はじめて1いになれました。そしておともだちのAチームもかつことができ とてもうれしかったです。

だけど かなしいこともありました。それはおともだちとなんかいもけんかをしてしまったことです。そんなときは いつもかみさまが「やさしいところだね」と 気づかせてくださったから また かなおりを して あそぶことができました。かみさま いつも ありがとうございます。

かみさまがつくってくれた ぼくたちにげんには いろいろなひとがいることに 気づきました。いえ がなくてこまっているひと、びょうきのひと。ぼくは そのひとたちのために いえをつくってあげるだいくさんや びょうきをなおすかんごしさんになりたいと思っています。どうぞ これからもたくさんのひとが えがおになるようにみまもっててください。

ほしぐみ いわさか りゆうき



イエスのカリタス修道女会 白河修道院

福島県白河市道場小路 88

http://www.m-caritas.jp
http://www.m-caritas.jp/youchien/16/welcome.html

ドン・ボスコ海外青年ボランティアグループ 20周年

2011年2月23日、ドン・ボスコ海外青年ボランティアグループ(略称・通称DBVVG)が活動開始20周年を迎えました。人生になぞらえれば、晴れて「成人式」を迎えたDBVVG。

「地球に笑顔が満ちるまで」をモットーに、これからも活動を発展させ、社会・世界・地球に、ますます貢献していくことが期待されます。

文 ● 村松 泰隆 むらまつ たか サレジオ会司祭 DBVVG事務局長

DBVVGの誕生物語

DBVVG誕生のきっかけは、「サレジオ」で育った若者たちの熱い望みでした。

東京・調布のサレジオ神学院では、当初より青少年司牧(育成)活動が大学生の志願生や神学生らを中心に行われていました。ポイスカウトや小学生対象のユースセンター、ユースセンター中学部のほか、調布教会の高校生会・青年会など、盛んに活動していました。この「サレジオ」で育てられ、大学生になった青年たちが、人に、社会に役に立つことを「何かせずにはいられない」という思いを形にしようと、当時サレジオ会日本管区長であった溝部脩司教に相談しました。

ちょうどその頃、育英高専(現・サレジオ高専)では、スロイテル神

父の指導のもと、東ティモールに学生たちが毎年派遣され、現地への要請に応じて協力する活動が軌道に乗り始めていました。この組織からアイデアとアドバイスを受け、「ドン・ボスコ海外青年ボランティアグループ」が誕生したのです。

社会貢献と青少年の育成のために

「人に、社会に役に立ちたい!」という思いで立ち上がったDBVVGの活動目的の一つは「社会貢献」です。そして、もう一つの目的としてドン・ボスコが青少年の父として若者を良き社会人、キリスト者となるように導いた意思を受け継いで、「青年たちの育成」を掲げています。

あえて住み慣れた環境(国)

を飛び出して、海外の僻地へと派遣される若者たちが、人との出会いや交流、さまざまな体験と分かち合いを通して、各自の中に新しい気づきを見だし、自身自身が磨かれることはとても貴重な体験となります。そしてこの活動によって成長した若者が、さらに他者(隣人)に開かれたものとなり、自分に与えられている豊かさを分かち合いながら、社会に貢献していく良き社会人となるための育成を志しています。

「奉仕」って何?

海外での派遣活動期間は、わずか3週間。特別な技術もなく、あるのはただ「役に立ちたい」という熱い思いと、ちょっとしたマンパワー。実際に現地での作業に取り掛かると、奉仕するどころ

か、指導や指示を受けながらの作業に手間がかかるし、現地のワーカーにとっては足手まといかもしれない。でも、わざわざ日本から遠く離れた場所に若者が手伝いに来たということで、現地の人たちは大いに刺激され活気づくのです。普段それほど働かないといわれる現地の人が喜々として働きます。また、ボランティアで来たはずなのに、村では大歓迎され、果たして何のために来たのだらうと、疑問が浮かぶこともしばしば。でも村の人たちは歓びにあふれて元気になっている。来てくれてありがとう。これも一つの奉仕のあり方だと気づかされるのです。

派遣生活の失敗や反省を通して学ぶことも大きいのです。無心に奉仕(ボランティア)するとき、自ずと喜びと楽しみがわいてくるものですが、自ら楽しむことを優先して求めようとすると、あ

らぬ方向に進んで目標を見失うこととなります。幸せを自ら求めようとすると手に入らなくなり、自分の幸せを忘れて人を幸せにするときに、いつの間にか自分も幸せになつていくことを学ぶのです。

DBVVGの願いと夢

参加者にとって、派遣先での出会い、仲間との共同生活、体験の分かち合いを通して、豊かな気づきを得るこの3週間は、生涯忘れられない宝となります。そしてさらに自分に問い続け、気づきを深めながら、奉仕する生き方を通して、一人ひとりのこれからの人生が豊かにされていくのです。

DBVVGをきっかけに、家庭、社会、世界、地球で、大きく羽ばたいてほしい。自分の小さな思いにとらわれることなく、神様の大きな思いに身をゆだねて、

神様の手伝いをしてほしい。そして皆で豊かな実りをもたらしていきたい。それがDBVVGの願いであり、夢なのです。

20周年、感謝を込めて

20年という長きにわたり、この小さなグループを力強く導いてくださった神様に感謝します。これまで物心両面から活動を支援してくださった方々。人のために何か役に立ちたいという寛大な心をもつて、海外派遣活動に参加した青年たち。温かく迎え、指導や協力をしてくださった派遣地の方々。事務局スタッフの皆さん。青年たちの人間的成長に寄りそってきたサレジオ会員の皆さん。皆さん一人ひとりの尊い務めに感謝します。

さてDBVVGはこれからも力強く歩み出していきます。地球に笑顔が満ちるまで!



20周年記念式典の様子(ミサ後)



20周年記念式典の様子(ライブ座談会)



2010年度派遣活動中の様子



定例会の様子

ドン・ボスコ海外青年ボランティアグループ Don Bosco oversea youth Volunteer Group (DBVVG)

● 1991年設立

● 活動趣旨

海外派遣先でのボランティア活動だけでなく、派遣された参加者が体験や人との出会い、交流を通して、新しい気づきを見だし、自分自身が磨かれることを目指す。また、その体験によって成長した若者が、さらに他者(隣人)に開かれたものとなり、自分に与えられている豊かさを分かち合いながら、社会に貢献していく良き社会人となる育成を志す。

● 海外派遣地域

フィリピン、パプアニューギニア、ソロモン諸島など

● 現地滞在期間

毎年 夏休み中の3週間
宿泊は現地サレジオ会関係の施設

● 参加費用

社会人は全額負担、学生割引制度有り

● お問い合わせ

ドン・ボスコ海外青年ボランティアグループ事務局
〒160-0011 東京都新宿区若葉1-22-12
サレジオ会日本管区長館内
Tel: 03-3353-8355
FAX: 03-3353-7190
www.donbosco.jp/org/sbdbvvg
sbdbvvg@donbosco.jp.org

★定例会を毎月第3土曜日に事務局で開催しています。

被災地支援の報告

東日本大震災の被災地支援のため、サレジオ家族は教会、学校、事業所、会員など、さまざまな支援活動を行っています。これまでの取り組みの一部を紹介します。

教会による支援活動

カトリック教会では、カリタスシヤバ
ンや各教区事務局を中心に、各教会や
活動団体が祈りと支援を行っている。調
布教会ではチャリティコンサートの実施、
中高生会による募金活動やメッセージ色
紙の作成を行った。鷺沼教会では被災地
での慰霊祭用の線香、下着の送付のほ
か、仙台教区サポートセンターの依頼に
より、近隣の教会と連帯して米を送付。
6月には480kgの米を送付。浜松教会
は週末を利用し、ブラジル人、ペルー人、
パラグアイ人、日本人のメンバーで塩釜
へボランティア活動に参加した。



イエスのカリタス修道女会による慰問コンサート、石巻の避難所にて

ボランティアの輪「シスターズリレー」

全国修道女連盟が企画し、各女子修
道会が交代で被災地に修道女を派遣する
「シスターズリレー」が行われている。
仙台教区サポートセンターに登録したボ
ランティアが活動するベースキャンプで、
シスターたちはボランティアのために調
理・洗濯・掃除・支援物資の整理、ボラ
ンティアが心身共に健康に働けるよう支
援。サレジオン・シスターズ、イエスの
カリタス修道女会ともにリレーに参加、
シスターたちの派遣を行っている。

サレジオン・シスターズはこのほか、
カトリック東京ボランティアセンターの
スタッフとして2名を派遣し、カトリック
東京国際センターが行う外国人被災者支
援の現地スタッフも1名派遣。岩手県の
大船渡教会とその周辺地区に、同郷出身



教派を超えて心一つに活動。東松島市にて

者の宮澤直子シスターを通して物資援助
を行っている。同会のボランティアグル
ーVIDES Japanは、震災以前から
関わりがあった福島県浪江町請戸地区の
恩人たちに義援金を送った。
イエスのカリタス修道女会は、5月に
は石巻の門脇中学校の避難所で慰問コ
ンサートを開催。「ふるさと」など、避
難所の人たちも一緒に歌った。7月初旬
に南三陸の避難所で炊き出し&ミニコン
サートを行う予定。

から活動先に分かれ、東松島市では津波
被害を受けた家を2日間にわたり清掃。
他教派のグループと協力しながら、土埃
と汗にまみれて活動した。仙台市内で引
越し作業に携わった青年は「被災された
方の笑顔を見たとき、私たちが現場に
来て、手伝ってくれたというつながりが大
事なのだと感じた」と話す。カトリック
児童福祉会が運営する3か所の老人ホ
ムを慰問したメンバーは、歌を披露する
などし、皆を元気づけた。

サレジオ会の深川博暉修道士は仙台教
区サポートセンターの塩釜ベースを中心
に3か月間にわたり活動した後、各地の
サレジオ会支部で現地の様子を報告。再
び東北での支援を続ける。

学校でチャリティコンサート

5月6日、サレジオ学院中学・高等学
校の吹奏楽部が、チャリティコンサート
を開催した。春休みに予定していた定期
演奏会が震災で中止に。あらためて被災
地援助の目的で開催したいという生徒の
願いで実現した。集まった義援金はカト
リック学校連合会を通して、東北のカト
リック学校支援のために送られる。

このほか、サレジオ家族ではさまざま
な取り組みを行っています。被災された
方々のため、引き続きたくさんの方々の支援と
お祈りを続けていきたいと思います。★

Info

PRESENT ドン・ボスコの風 読者プレゼント

応募方法:

お名前(フルネーム)・住所・年齢・ご職業とご希望のプレ
ゼント(A・B・C)いずれか一つを明記し、本誌のご感
想をお書き添えの上、Eメールまたはハガキで下記宛先ま
でお送りください。

[Eメールの場合]

DB-no-kaze@donbosco.jp

[ハガキの場合]

〒160-0004

東京都新宿区四谷1-9-7 ドン・ボスコ社内

「ドン・ボスコの風」編集事務局

応募締切:2011年8月31日消印有効

当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

ご応募いただいたお客様の個人情報は賞品の発送のみに使用し、その他
には一切使用致しません。

A 完訳 ドン・ボスコ伝



混迷するイタリアを舞台に、ドン・ボスコの人柄と生涯を数々の証
言とともにいきいきと描く、伝記
の待望の完訳版。

テレビオ・ボスコ著
サレジオ会訳 A5判上製
540頁 ¥1,890

5名様

B なみだ



難病の子どもたちと家族に向き
合ってきた医師、細谷亮太さん
が、先立ったいのちと残された
家族に贈る、優しく美しい絵本。

細谷亮太 文 永井泰子 絵
A5判上製 31頁 ¥1,260円

5名様

C 街角のマリア メモ帳



イタリア製の携帯できるビニール
ケース入りのメモ帳。聖人シ
リーズのうち人気の聖母の絵柄
です。メモ帳は白紙。

イタリア製 9x7cm ¥315

5名様

(いずれもドン・ボスコ社提供 <http://www.donboscosha.com>)

次号No.8は2012年1月発行予定です。

「ドン・ボスコの風」バックナンバーは、
サレジオ会ホームページ <http://salesians.jp>でご覧いただけます。
トップページの「ライブラリー」→「ドン・ボスコの風」

サレジオから若者のために。
オープンなコミュニケーションサイト。

ユースブック

語りうるこころ、ココロのはなし。 Youth Book

ココロにしまっている熱い気持ちや悩み、
誰かととにかく話したいこと、
ここでなら語れる、分かち合えるコトがたくさんあるはず!
さあ、迷っていないで、みんなで分かち合い、語り合おう!!

あなたも
新しいつながりを
見つけよう!

「ユースブック」はカトリック・サレジオ修道会 日本管区の運営する
コミュニケーションサイトです。

ユースブック 検索

<http://salesians.jp/youthbook/>

ケータイサイト
オープン!!

右のQRコードから
アクセスできます。



カトリック・サレジオ修道会 日本管区
©2010 Salesians of Don Bosco in Japan. All Rights Reserved.

from the Editor 編集後記

2月、ドン・ボスコの聖遺物が日本を巡らし、多くの
方々が特別な恵みの時を過ごしました。それから1か
月たないうちに東日本大震災が発生。大津波は
500km以上の地域を襲い、福島県浜通りの原発事故
で多くの方々が避難生活を強いられています。詩編
95番に「今日、神の声を聞いたら、神に心を閉じては
ならない」という招きがあります。神の声を聞いてす
ぐに反応した人々、特に自衛隊、警察、ボランティア
たちの寛大な働き、被災地の教会の奉仕は、神様が
私たちと共にいてくださる希望のしるしです。本誌も
「今日、神の声を聞く」務めを果たしますように。(M)

ドン・ボスコの風 No.7

BOLLETTINO SALESIANO Luglio 2011
2011年7月15日発行

編集人 山野内 倫昭
発行人 アルド・チブリアニ
発行所 カトリック・サレジオ修道会
「ドン・ボスコの風」編集事務局
〒160-0004
東京都新宿区四谷1-9-7
ドン・ボスコ社内
電話:03-3351-7041
Fax:03-3351-7042
Eメール:DB-no-kaze@donbosco.jp

編集・デザイン制作 ドン・ボスコ社
印刷所 日之出印刷株式会社

本誌掲載の記事、写真、イラストの無断転載を禁じます。
©カトリック・サレジオ修道会 2011

ドン・ボスコへの祈り (2015年生誕200周年の祝いに向けて)

若者の父、師である聖ヨハネ・ボスコ、
あなたは聖霊の賜物を受け、
時代の呼びかけに心を開き、
若者、特に助けを必要とする若者のために
神の愛のあかしとなりました。

主イエスの友となる道を歩む私たちを導いてください。
イエスのうちに、そして福音のうちに

私たちの生きる意味、
真の幸福の源を見いだすことができますように。

私たちが神から与えられる使命に、
寛大に応えることができるよう助けてください。

日々の生活のなかで、私たちが一致を築くものとなり、
すべての人びとの交わりのなかで、

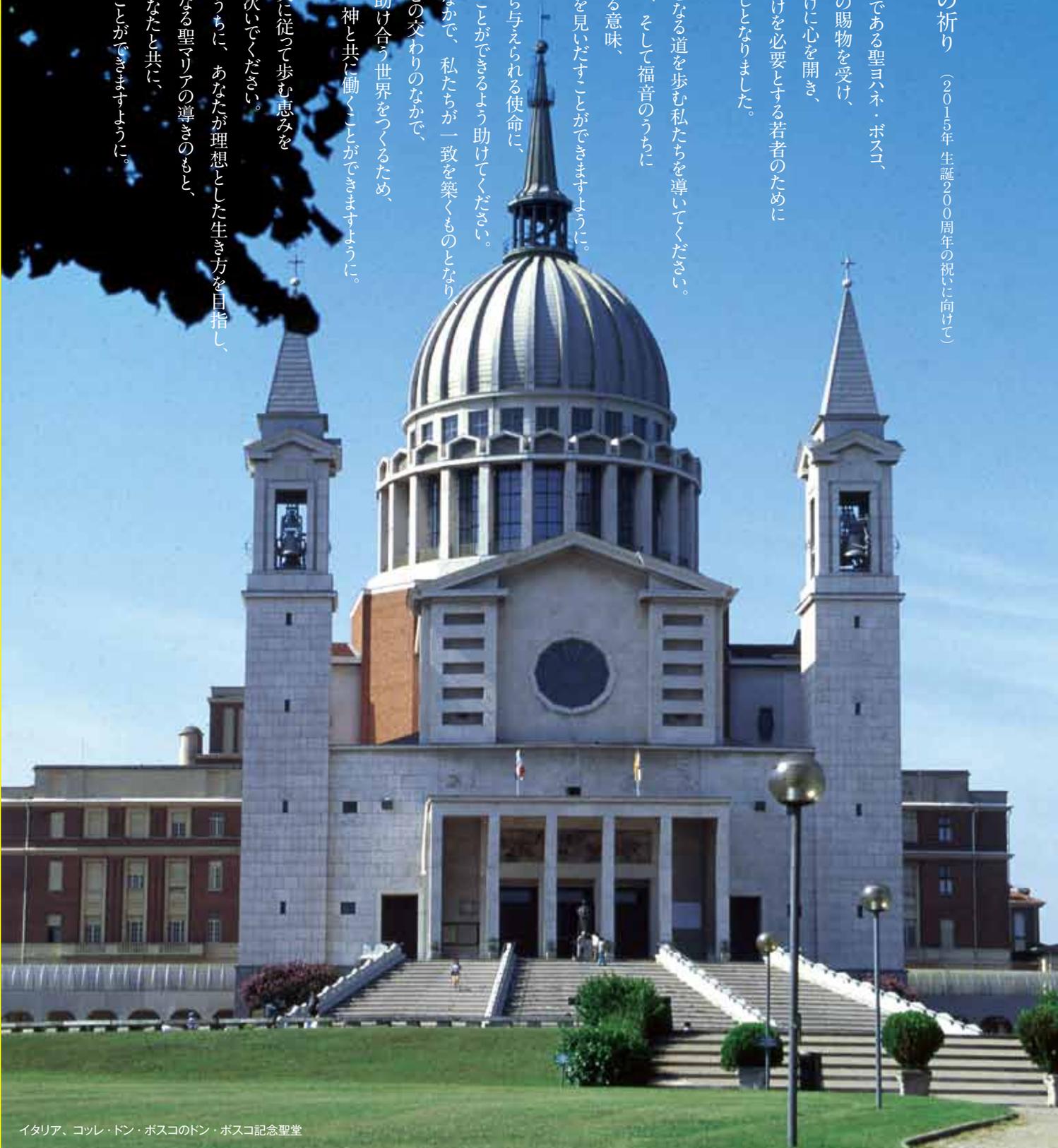
互いに理解し助け合う世界をつくるため、
執意をもって、神と共に働くことができますように。

主イエスに忠実に従って歩む恵みを
私たちに取り次いでください。

福音の精神のうちに、あなたが理想とした生き方を目指し、
私たちの助けとなる聖マリアの導きののもと、
いつの日か、あなたと共に、

天の国で喜ぶことができますように。

アーメン。



イタリア、コッレ・ドン・ボスコのドン・ボスコ記念聖堂